

西の低空で月が金星に接近



天空が広がるうぶやまの高原には、爽やかな夏風が吹き始めました。梅雨末期で、天候が不順でくっきり晴れた星空は望めませんが、もうこの頃には梅雨が明けていることに期待しましょう。

指針コラム(天体観・見どころ)

7月の星空情報の第2弾は7月17日(金)の夕方に西の低空で明るい金星と細い月が接近するという天文現象です。

7月の日の入後の西の低い空には春の星座が地平線に沈みかけています。宵の明星と呼ばれる金星(−4.1 等級)がしし座付近で大変明るく輝いています。その金星に三日月を過ぎた細い月が接近して見えます。

一番星の金星と、細い形をした月が約4度ほどに接近して並ぶ様子は、西の空で目を引く光景でしょう。日の入り前後の夕焼けの中、探してみてもいかがでしょうか。

観察対象

